

市民環境大学OB会 ニュースレター



第28号 2019年9月19日 発行

今が旬のブルーベリー

水車まつり開催される！

環境大学OB会メンバーである上野さんは日野市の重要な遺産である日野用水の保護に長年関わってこられ、ニュースレター13号では「日野用水開削450周年記念事業」の一環で開催されたイベント「知ろう・歩こう・向島用水」について投稿頂きました。

今回は向島親水路に設置されている老朽化して停止していた水車がリニューアルされ再び動き出し、それを記念して水車まつりが開催されたため、それについて投稿頂きました。以下にご紹介します。

投稿

水車まつり

向島用水の水車リニューアルを祝って

OB会 上野 さだ子

令和元年6月8日(土)、向島用水親水路水車小屋の水輪と軸がリニューアルされたお祝いをしました。

平成7年に新設された水車の水輪は1度交換されましたが、数年前から老朽化が進み、昨年からは停止していました。

2011年発足した「日野の水車活用プロジェクト」では、1年に数回、水車を使った精米体験(水車の臼で玄米を搗く・又力をふるう・モミ摺り・石臼で米粉作り・戦時中の一升瓶精米など)のイベントを行い、潤徳小学校の米作り授業の精米支援では、子どもたちと水車精米体験も行っていました。

平成28年度から3年かけて東京都助成を受け、向島用水親水路の整備が行われ、老朽化していた橋や道路が修復され、今回ついに平成31年3月末、水車の水輪と軸が交換されました〔3年間総計 親水路1620万円(都補助50%)、水車1728万円(都補助75%)〕。水車の早期復元を待ち望んでいた人々は、水しぶきをあげて廻る水車に歓声をあげました。

新しくなった水車を祝う「水車まつり」を、地域の団体や市内の水関係グループ11団体と、日野市の環境共生部/緑と清流課/郷土資料館/地域協働課の協力で行いました。

当日は、手作りくす玉を割り、実行委員長や小笠環境共生部長の挨拶に始まり、多くのパネル展示、地場野菜販売や各サークル作品等の販売、竹トンボ・綿あめ・水車紙芝居・絵文字書きコーナーなどもあり、多くの方が参加し、子どもたちが行き交う、にぎやかな会となりました。ただ、前々日の大雨で導水堤が壊れ、当日は用水路末で田植えが行われていたため、水量を十分に確保できず、一番のハイライトである、水車の臼による精米と、水路を利用した小水力発電ができなかったことが残念でした。

♥次回は、10月26日に「水車まつり一虫の音と尺八の競演のタベ」を行う予定です。



水車リニューアルイベント
パンフレット



新しくなった水輪2019年3月



水車まつり風景“手作り紙芝居”



戦時中の一升瓶での米つき体験

[OB会コラム]

今回はOB会の坂井さんです。坂井さんはOB会活動に大変熱心で放射線計測や湧水量測定にも継続的に参加されています。今回はネパール旅行をされたとのことで、なかなか行けるところではなく大変貴重な体験談です。以下にご紹介します。

投稿

「ちょこっとネパール」

OB会 坂井 京子

先日ネパールに行って来ました。と言ってもカトマンズに三日滞在しただけですのでほんのちょっと覗いたというくらいの感じです。直行便がないので韓国のインチョンで乗り継ぎ 合計9時間かけて到着しました。ネパールは王国が2008年に倒されて現在は共和国です。今回の旅行の一番の目玉はエベレスト遊覧飛行でした。六月は雨期に入り始めたので見られるかどうか心配していたのですが二回目の挑戦で美しいヒマラヤの山々を雲の上に見ることが出来ました。40人乗りの飛行機の窓側だけ（つまり20席）にお客を乗せ 絶景の写真ポイントに行くとなると一人ずつ機長席に呼んでくれてきれいな写真を撮れる様にはからってくれました。

カトマンズは標高1300メートルに位置する盆地なので昼は熱く夜は涼しかったです。仏教やヒンズーの寺院、旧王宮の建物が観光の対象です。パタンという町には木彫りの窓や扉が沢山残されていて細かい装飾に目を奪われました。昔の首都であったバクタプルや現在の首都カトマンズを歩きロープウェイで丘の上ってその町を見下ろしました。

ネパールのビザを申請する時に 今回の旅行でルンビニに行くかどうか という質問があるのですがそれは釈迦の生誕地ルンビニはインドではなくネパールなのですよと、せめてネパールを訪れる人には頭に入れておいて欲しいという意図から付け加えられた項目だそうです。確かに一緒に旅行者の誰もそのことは知りませんでした。

今も残っている生き仏クマリの存在には胸が痛くなりました。3歳から10歳の可愛くて物に動じない女の子を1人選び 女性になるまで建物から出さずに生活させるのだそうです。その館に行って「クマリ～」と何度も呼ぶと窓から顔を出してくれました。それが本当に幼くて（5歳）拗ねている様子が本当に哀れに思えました。その子は外に出てからは結婚しても良いけれど クマリと結婚した男性は早死にするという噂があって結婚したがる人間は現れないということです。未婚なら年金は出すが結婚したらそれはなしになると決められているそうです。惨いですね。まあこれは部外者の無責任な感想です。

泊まったホテルは清潔で水もふんだんに使えだし食事も美味しかったのですが住民は水を大切にしていると聞きました。そして多くの人が月収一万から三万なので大部分は生活が苦しいそうです。

日本の援助で立派な道路や建物の修復が行われています。ですから大変親日的です。しかし舗装されていない道も多く 川にはごみが捨てられヘドロのにおいで鼻をつまむ様な所もありました。最近是中国も多額の寄付をしているらしいです。

道の両側に植えられた木の中に どうもジャカランダではないかと思えるものが多数あったので もしそうならば花の季節は美しいだろうなと想像しました。そんな時に訪れたらいいでしょうね。

最近はいつもこれが最後かも と思って出かけます。今回は直前に私が足を痛めブロック注射をしての参加でしたし 旅行中に夫が体調をくずしたので 正にその感を強くしました。でも又条件が整えば出かけたいとは思っています。



遊覧飛行で撮影したエベレスト



珍しい木彫りの窓

OB会メンバー 活動イベントニュース

- 水と緑の日野・市民ネットワーク主催シンポジウムが開催された。（9月7日）
副題 地図でたどる日野市の変遷
- 10月の定例OB会のフィールドワークが決定した。（10月17日(木)13:30～）
今回は小平市のふれあい下水道館の見学会の予定
- 月次での水質調査（パックテスト）の実施が決定された。
場所は黒川清流公園のあずまや池、大池、清水谷池の3ヶ所
パックテストの実施にあたり発生する経費については今回決定した遠藤基金（10,000円/年）及びOB会員の寄付を充当することになった。